

特別天然記念物「ニホンカモシカ」を見かけたら

近年、市内各地でニホンカモシカの見撃情報が多く寄せられています。ニホンカモシカは基本的におとなしい動物です。見撃しても近づかないようにご協力をお願いします。

1. ニホンカモシカについて

ウシ科の草食動物で、中国地方を除く本州・四国・九州に生息しており、昭和30年2月15日に、**特別天然記念物**に指定されています。

成獣は、オスもメスも体の大きさに差がなく、一般的に頭胴長約130cm、尾長約10cm、体高約75cm、体重約30~40kg オス・メスともに12~15cmくらいの角があります。



2. ニホンカモシカを見かけたら

ニホンカモシカは警戒心が非常に強く、大声など大きな音を出し刺激すると、突進や角で攻撃してきます。また、様々な病原菌を持っている可能性が高いため、触ったり保護したりしないでください。

①元気な場合 ⇒ 見守りを

基本的には人を襲わない動物です。帰巢本能もあるので、山に帰る道筋が分かれば帰っていきます。そのため、**しばらく様子を見る**のが原則です。

万が一、ケガや病気などで衰弱して動けない場合は、カモシカには触らず、文化財・世界遺産課へ連絡してください。

(状況によっては、県文化財保護室と鳥獣保護センターで保護します。)

②死亡している場合 ⇒ **触らず文化財・世界遺産課に連絡を** TEL30-0294

文化財・世界遺産課で検死などの手続きを行った後、発見現場若しくは周辺に埋葬します。死体には触らずに、課へ連絡してください。

③子どものカモシカの場合 ⇒ **絶対に触らず見守りを**

幼獣のカモシカを見つけ、親と離れて迷子になっているものと思い、持ち帰る事例があります。たいていは近くに親がおり、警戒して姿を見せていないことが多いです。幼獣のカモシカは、一度捕獲すると、人間の臭いが移り、親が警戒してしまうため、野生復帰が困難になります。

※問い合わせ先

鹿角市 文化財・世界遺産課 電話 0186-30-0294